

配当年次	開講期	科目名	担当者	単位	卒業 必・選	授業形態
3	前期	乳児保育 I	栗林恵	2	選択	講義
授業の概要		乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割、保育所・乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題、3歳未満児の発達を踏まえた保育内容と運営体制について、学ぶと共に、乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する。				
授業の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児の誕生、成長、発達を掴み、その発達を保証する保育内容を理解する。</li> <li>・子どもの生活やあそびを理解し、保育の環境整備を学ぶ。</li> <li>・保育士の役割、連携、協働及び保護者、地域関係機関との連携を理解する。</li> </ul>				
回	授業のテーマ及び内容		各回 100 分			
1	乳児保育の基本		8	家庭的保育における保育		
2	乳児保育の歴史的変遷		9	3歳未満児をとりまく社会的環境と子育て支援		
3	乳児保育の役割、意義と目的		10	3歳未満児の生活と環境		
4	乳児保育における養護と教育		11	3歳未満児の発育と発達		
5	乳児保育の現状と課題		12	あそびと環境		
6	保育所における乳児保育		13	発達に伴う援助や関わり		
7	保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)の保育		14	乳児保育における関係機関との連携・協働(まとめ)		
成績評価方法		定期試験の成績 60%, 課題・小テスト等 30%, 受講態度・授業への参加度 10%				
教科書		『はじめて学ぶ乳児保育 第三版』同文書院(2022年) 志村聡子 編著				
参考書		『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館(2018年9月) 厚生労働省 『保育所保育指針解説(平成30年3月)』フレーベル館(2018年3月) 厚生労働省				
授業外の学習方法		週4時間程度の復習を行うこと。 小テスト・試験対策の時間も確保すること。				
免許・資格		保育士資格必修科目				
実務経験と教授内容		保育士・保育教諭経験者が全ての回を担当				

配当年次	開講期	科目名	担当者	単位	卒業必・選	授業形態
3	後期	乳児保育Ⅱ	栗林恵	1	選択	演習
授業の概要		3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境、配慮の実践について学ぶと共に、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。				
授業の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の生活を具体的に学び、その特性を踏まえ援助や関わりの方針を学ぶ。</li> <li>・養護と教育の一体性を踏まえ生活や遊び、保育の方法及び環境を具体的に理解する。</li> <li>・乳児保育における配慮の実践を理解する。</li> <li>・乳児の成長発達を支える保育の為に保育計画の作成を具体的に理解する。</li> </ul>				
回	授業のテーマ及び内容		各回 100分			
1	保育士との関わり的重要性	8	子どもの発達と援助・健康・観察記録			
2	個別的配慮、援助、受容と応答的な関わり	9	子どもの心身の健康と安全・情緒の安定を図るための配慮			
3	子どもの育ち、主体性の尊重	10	集団生活の意味と配慮			
4	子どもの体験と学び表現	11	環境移行の為に配慮と保育			
5	子どもの生活と保育の流れ	12	乳児保育の計画、必要となる書類			
6	子どもの遊びと環境	13	長期計画・短期計画			
7	子どもの事故と対応	14	連絡帳等、保護者との関わり(まとめ)			
成績評価方法		定期試験の成績 60%、課題・小テスト等 30%、受講態度・授業への参加度 10%				
教科書		『はじめて学ぶ乳児保育 第三版』同文書院(2022年) 志村聡子 編著				
参考書		『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館(2018年9月) 厚生労働省 『保育所保育指針解説(平成30年3月)』フレーベル館(2018年3月) 厚生労働省				
授業外の学習方法		週2時間程度の復習を行うこと。 小テスト・試験対策の時間も確保すること。				
免許・資格		保育士資格必修科目				
実務経験と教授内容		保育士・保育教諭経験者が全ての回を担当				